



榊原町で「田んぼアート」田植え 見頃は7月中旬から



6月10日(日)、榊原町安子地内で「榊原温泉 田んぼアート2012・田植え」(主催:榊原みずすまし会)が開催されました。今年で3年目を迎え、市内の親子ら約220人が参加し、今年のデザイン「ホテルとカエル」を3種類の苗で色分けして植えました。デザインは榊原小学校の児童から公募し、同校5年の山川彩織さんと6年の中西彪くんの作品が採用されました。このデザインをもとに久居農林高校の生徒たちが測量を行い、この日のイベントに備えました。

晴天に恵まれ、参加した子どもたちは、全身泥まみれになりながら、慣れない手つきで、田植えを行い、楽しいひとときを過ごしました。7月中旬には絵柄が鮮明になり、8月いっぱい楽しめるもようです。皆さまも、ぜひ現地を訪れていただき田んぼアートをお楽しみください。

問い合わせ 榊原農民研修所(☎252-0220)

位置図



久居地域で活躍している人たち



今だから、伝えたい～平和への祈り

久居地域の活性化のために活躍している「人」にスポットを当て、紹介するコーナーです。第8回目は8月11日(土)に久居ふるさと文学館で戦争体験を語る上山因夫さんと聞き手の増田晋作さんのお話です。

体験を記録する 増田晋作さん



榊原公民館長時代を含めて、地域の人から昔の生活などさまざまな話を聞いてきました。たわいもない雑談の中でも、戦争のことは多かったように思います。忘れられないこと、心に深く刻まれているのだと感じました。今年から久居老人クラブ連合会の会報紙でさまざまな戦争体験を連載し、記録として残すことに取り組んでいます。

戦争を体験した 上山因夫さん



実際に駆逐艦に乗り、機雷で撃沈されて九死に一生を得ました。以前は戦争のことを話すことはできませんでした。負けたという意識、仲間が大勢命を落としているのに自分だけが生き残って申し訳ないという気持ちでいっぱいだったからです。話をするようになったのは小学校から講演の依頼を受けた10年くらい前から。今、戦争の事実を語っておかないと、当時のみんなの思いや出来

事が、あたかもなかった事かのように消え去ってしまうような気がしました。同じことを繰り返してはならない、だからこそ、今、伝えていくことが必要なのではないのでしょうか。

戦後67年を迎え、悲惨な戦争を生き抜いてきた人々は高齢化し、戦後生まれの世代が多くなりました。豊かで平和な暮らしが当たり前のように感じられている現在ですが、かつて戦禍に苦しみ、大勢の方々が犠牲となったことを忘れずにいたいものです。

■今だから、伝えたい～平和への祈り

日時:8月11日(土)10時30分～

会場:久居ふるさと文学館2階視聴覚室

内容:特別講演会「戦争の話を聞いておこう」、パネル展示「原爆と人間展」、折り鶴を折って広島へ届けようなど

問い合わせ 久居総合支所 生活課(☎255-8841)

久居地域再発見



重厚な造りの酒蔵を活用した油正ホール

国登録有形文化財「^{あぶしょう}油正ホール」

久居本町通りを南に向けて進むと、右手に黒い板壁の大きな土蔵があります。これが国登録有形文化財「油正ホール」です。この建物は江戸時代末期に建てられ、当時は油屋として店を構えていましたが、その後、その屋号や建物が明治2年創業の現在の所有者である醸造業者に引き継がれ、近年まで米蔵兼精米所として用いられてきました。木造2階建切妻造り棧瓦ぶきの建物は、下見板張りの黒壁に窓のしっくい白が映え、表情豊かな外観となっています。

9月27日(木)～30日(日)まで、県内在住のものづくり作家による合同作品展「つくりびと展・五一きざむー」の開催も予定されています。入場無料ですので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 久居総合支所 地域振興課(☎255-8803)

インタビューの“わ”



中村よくしろう会

今回は、中村町で活動している「中村よくしろう会」の役員の皆さんと自治会長にお話を伺いました。



手作り感一杯の登山道や手入れされた公園。山頂からは遠くに神島が望めます。

主な活動は？

立石山登山道の整備、小学校卒業記念樹の準備、夏の下草刈り、公園の整備・清掃、夏祭り・文化祭・ハイキングといった地域行事への協力など、住みよい環境作りや憩いの里づくりなどの活動をしています。

会の特徴は？

現在会員は28人、会として正式に発足したのは平成12年ですが、それ以前から自主的に活動をしていました。自分たちが出来ることを出来る時にする。活動内容は会員の自主性に任せていて強制はしていません。アイデアを出す人、力仕事が得意な人、大工仕事や造園の技術がある人、達筆な人、文章にま

とめるのが上手な人など、それぞれの得意分野が生かされ、お互いの存在感を認め合い、達成感も味わえます。一番の特徴は強い団結力だと思います。

これからの活動は？

登山道の崩れた階段を直したり、木製の手すりなどの修繕を続けていきます。会員も高齢化しているので、今後、どのように会を維持していくのかなどの課題もありますが、今の活動を広げることより継続していくことに力を入れていきたいと思っています。皆さんも一度、中村町を訪れてみてください。

問い合わせ 中村よくしろう会
会長 森さん(☎252-0034)

街角 ウオッチ

桃園地区 緑のカーテン

桃園地区では、平成23年度から「地域にやさしい我が家の緑のカーテン」をテーマに緑のカー



テンコンテストを実施しています。昨年は初年度でしたが、20人の参加者がありました。今夏は倍以上の参加者が集まることを目指しています。現在、桃園地区において同コンテストの参加者を募集しています。ゴーヤ、朝顔、ひょうたん、ふうせんカズラ、へちま等、初心者からベテランまで多くの人に取り組んでいただき、夏の節電や家庭でのエコ意識の向上や緑のカーテンを中心とした地域の人たちの交流に役立っています。

問い合わせ 桃園情報センター(☎256-7686)

久居地域の 7～9月 主な催し物

この夏、久居地域で開催される主なイベントを紹介しま
す。ご家族そろってお出掛けください。
(※主催者の都合により変更される場合があります。)



サマーフェスティンひさい(大輪の花、夜空に開く!)

日時: 8月4日(土) 19時～21時(小雨決行、荒天の場合
は、5日(日)、11日(土)に順延)

会場: 陸上自衛隊久居駐屯地グラウンド(久居新町)

内容: 市民総踊り、花火大会(打ち上げは20時～21時)

観覧場所と打ち上げ場所が近く、迫力満点の花火が打ち
上げられます。頭上で開く、色とりどりの花火をご観覧ください。
フィナーレを飾る特大スターメインと全長100mの大仕掛け
ナイアガラ大瀑布は必見です。

問い合わせ

サマーフェスティンひさい実行委員会(☎255-8846)



元町観音さん「千手観音縁日盆踊り大会」



日時: 8月17日(金)・

18日(土) 19時～21時

会場: 千手院 賢明寺
境内(久居元町)

内容: 盆踊り、茅の輪く
ぐり、火渡り神事、お楽し
みくじ

盆踊りは、炭坑節や新久居音頭などを踊ります。
火渡り神事は、18日のみ、18時～19時に開催
されます。誰でも自由に参加できます。

問い合わせ 千手観音奉賛会

稲葉さん(☎080-6967-9487)

こどもみこしの担ぎ手募集

昨年好評を博しました久居こどもまつりで「こどもみこ
し担ぎ手」を募集します。わっしょい!わっしょい!と元気に
久居のまちを賑わしましょう。

行事日程: 10月21日(日)

募集期間: 9月1日(土)～20日(木)

対象: 幼児及び小学
生(先着100人)



問い合わせ 久居こ

どもみこし世話人会

代表 庄山さん

(☎255-7559)

総合支所から

榊原温泉郷おもてなし館がオープンしました。



地元関係者等のテープカットによりオープンしました。

4月23日(月)、榊原町の旧消防署榊原分遣所跡をリニュー
アルし、榊原温泉郷おもてなし館がオープンしました。

この施設のオープンは地域の皆さんや関係団体のご努
力により実現したもので、榊原温泉郷を訪れる方への地域
情報、観光情報を提供するほか、今後、地域の皆さんの創意
工夫による多目的な活用方法が検討されています。

問い合わせ 榊原温泉振興協会(☎252-0017)

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。皆さまいかがお過ごしでし
ょうか。「桃園地区緑のカーテンコンテスト」のような取り組みが
多くの地域へ広がり、この夏の節電への一助になれば素晴ら
しいですね。皆さん、くれぐれも、熱中症には十分ご留意いた
だき、緑のカーテンを楽しんでください。

ひさい地域だより
年4回発行

編集・発行: 津市久居総合支所地域振興課 〒514-1192 津市久居東鷹跡町246
☎255-8803 Fax256-7666 E-mail: 255-8812@city.tsu.lg.jp